



【シスプラチン+ペトレキセド+リブタヨ療法について】



様

コース目

☺ **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目		
薬の名前	作用	めやすの時間																								
パンビタン末	葉酸を含む総合ビタミンです	1日1回 内服																								
ホスアプレピタント注	吐き気止めです	30分																								
パロノセトロン注	吐き気止めです	30分																								
デキサート注																										
リブタヨ注	抗がん剤です	30分																								
ペメトレキシド注	抗がん剤です	10分																								
シスプラチン注	抗がん剤です	90分																								
※ ペメトレキシド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。																										

※ ペトレキセド注による副作用軽減のため、パンプタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。

腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。
無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。



☺ 治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目		
自覚症状	食欲不振・吐き気																								
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																							
	皮疹																								
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																							
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																								
		髪質が少し変わることもあります。治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																							
	手足のしびれ																								
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																							
検査値	白血球減少																								
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																							
	赤血球減少(貧血)																								
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																							
	血小板減少																								
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																							
	腎機能低下																								
		顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																							
	肝機能低下																								
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																							

*リブタヨ注の副作用については別紙を用いて説明します。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 抗がん剤投与および投与後一定期間は適切な避妊を行ってください。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。